

**子ども向けメディアアートワークショップ「ななめな学校」を開催します！
～アーティストやデザイナーの生徒になって新しい表現に挑戦しよう！～**

千葉市では、アーティストやデザイナーなどのクリエイターが講師となり、様々なメディアやテクノロジーを使った新しい表現に挑戦する『令和4年度体験・創造ワークショップ事業「ななめな学校」』を開催しますので、お知らせします。

1 趣旨・目的

平成26年度から開始した千葉市メディア芸術振興事業では、若者に関心の高いメディア芸術の振興を図ることを目的に、本市の様々な地域資源の魅力メディア芸術の力で発掘するとともに、子ども向けの体験イベントや若者を対象としたワークショップ等を実施しています。

今年度は、アーティストやデザイナーといったクリエイターが講師となり、いつもとは違った「ななめな」ものの見方で、さまざまなメディアを使った新しい表現に挑戦する「ななめな学校」を開催します。

2 イベント概要（別添チラシ参照）

（1）開催日

令和4年10月10日（月・祝）

午前の部 10：00～12：30

午後の部 14：00～16：30

※各授業、同じ内容で午前と午後の2回開催します。

（2）会場

千葉市生涯学習センター 研修室1～3（中央区弁天3-7-7）

（3）対象・定員

市内在住の小学校3年生～6年生 各回20名（参加者募集済）

（4）参加費

無料

（5）内容

ア 授業1

「影絵でつくろう！いたかもしれない幻の生き物」

講師 かわむら 川村 こうへいさい 亘平齋さん（影絵師・音楽家）

大きくも小さくもなるし、明るいとパッと消えてしまう不思議な「影絵」。そんな影絵で、「かつて、ここにいたかもしれない生き物」を表現してみます。想像力とまちの歴史を手がかりに、幻の生き物を工作して投影してみよう！

イ 授業 2

「おいしいって何？ 新しい駄菓子デザインしよう」

講師 中山 晴奈さん（フードデザイナー）

お菓子ってどうして食べたくなるの？「おいしい」ってどんな時に感じるの？
味だけじゃない食べものから感じる「よろこび」を分析・研究して、楽しくて
おいしいオリジナルの駄菓子のデザイン画や模型をつくります。

ウ 授業 3

「ある」ってなーんだ？ きみだけの「ある」カードを作ろう」

講師 和田 夏実さん（インタープリター）

みんなが「ある」と思っているものは、本当に「ある」のかな？ たとえば、虫
や、犬や、植物…それぞれの世界から見ると、世界はどんな風に見えるだろう。触
ったり、見たり、聞いたり、読んだりして「ある」と感じている色々な事。それら
が、なぜ「ある」のかを考えたり、まだ「ない」ものを探したり。自分の世界の「あ
る」を、みんなにとっての「ある」にするための方法を考えて、色々なアプローチ
で、オリジナルのカードを作ってみます。

(6) 主催

千葉市（受託者 Chiba Media Art Project）

3 取材について

取材を希望される方は、10月7日（金）15：00までに会社名、申請者名、連絡先
を記載して、文化振興課へメール（bunka.CIL@city.chiba.lg.jp）でご連絡ください。

取材の際は腕章等を着用いただくとともに、感染症拡大防止の観点から、マスクの着用、
会場入口での手の消毒等の感染対策にご協力ください。

<参考>

「ななめな学校」過去の開催実績

1 開催回数

平成28年度から開始し、これまで計5回開催。

※令和2年度は新型コロナウイルス感染予防の観点から中止。

2 内容

「書写の道具でつくろう動物パラパラアニメ」や「紙の活字と光るインキの不思議ラ
ボ」など年度ごとにクリエイターによるワークショップを開催。

3 参加者数

計1,307人